

郡山ユースカウンスル 2025 開催結果

「学校のリアルとわたしたちが考える教育の未来ー郡山市への提言」



テーマ	提言要旨
A グループ 「学習意欲の向上」	● 習ったことの実用と深掘りのために、探究活動を取り入れる(ex.習ったことを深く調べて発表する、教科書にないことの探究、ICTを活用したネイティブとの交流) ● 自習室の設置推進やレベル別学習、個別学習の推進など、ICTを活用しながら学習環境を整備する。
B グループ 「教職員と生徒に寄り添う学校施設」	● 生徒と先生の身体と健康に寄り添った学校を目指すために、体育館の冷房などの熱中症対策やスロープ設置によるバリアフリー化を進めてほしい。 ● 不便が少なく、時間効率のよい生活が送れる学校を目指すために、トイレの洋式化や空き教室の活用(送迎待機スペース等)を図ってほしい。
C グループ 「地域とつながれる行事とは」	● 学校と地域の相互交流のため、学校に地域行事のポスター等を掲示できるスペースを作してほしい。 ● 地域の方々とつながる手段としてオンラインを活用したいので機材を貸し出ししてほしい。 ● 地域とのコミュニケーション及び環境保全のため、ペットボトルキャップの回収箱を設けてほしい。 ● 地域と関われる学校を作っていくため、地域の人も利用できる意見箱を設置してほしい。
D グループ 「校則の明確化のために」	● 誰もがわかりやすい校則とするため、最低限の校則を理由を含めて市内で統一してほしい。 ● 校則がいつでも確認できるように、各学校のホームページに校則を掲載するように働きかけてほしい。
E グループ 「みんなが求める環境にやさしい学校づくり」	● 資源を大切にすることを旨とするため、資源を回収する大きな施設をつくってほしい。 ● 節電・節水ができる学校を目指すため、水栓に人感センサーを設置し、校舎等にソーラーパネルを設置してほしい。

1. グループ一覧

A グループ「学習意欲の向上」

No.	学校名	氏名
1	行健中学校	大石 駿さん
2	三穂田中学校	増子 羽菜さん
3	逢瀬中学校	佐藤 柊斗さん
4	高瀬中学校	佐藤 慈貴さん
5	郡山第二中学校	菅原 大晴さん
6	西田学園義務教育学校	橋本 凜太さん
★	福島大学	大内 翼さん

B グループ「教職員と生徒に寄り添う学校施設」

No.	学校名	氏名
1	安積中学校	三瓶 詩織さん
2	守山中学校	玉川 澄羽さん
3	郡山第四中学校	内川 凜さん
4	富田中学校	勢藤 伊緒さん
5	大槻中学校	星野 有希さん
★	福島大学	伊勢 聖也さん

C グループ「地域の人とつながれる行事とは」

No.	学校名	氏名
1	安積第二中学校	加藤 蒼大郎さん
2	喜久田中学校	安齋 蒼空さん
3	郡山第三中学校	磯川 優芽さん
4	郡山第七中学校	大内 友稀さん
5	御館中学校	先崎 円香さん
★	福島大学	阿部 友香さん・近藤 奏音さん

D グループ「校則の明確化のために」

No.	学校名	氏名
1	日和田中学校	根本 妃野さん
2	明健中学校	高橋 桃子さん
3	片平中学校	磯部 瑛多さん
4	郡山第一中学校	岩間 千由希さん
5	郡山第五中学校	古川 羽琉さん
6	郡山第六中学校	渡邊 美羽さん
★	福島大学	大嶋 悠汰さん

E グループ「みんなが求める環境にやさしい学校づくり」

No.	学校名	氏名
1	熱海中学校	猪俣 夢唯さん
2	緑ヶ丘中学校	橋本 彩花さん
3	小原田中学校	横田 寛大さん
4	宮城中学校	熊田 琉香さん
5	湖南小中学校	齋藤 楓さん
6	郡山ザベリオ学園中学校	遠藤 翼さん
★	福島大学	小林 瑚雪さん・長南 桃花さん

★は大学生メンターの皆さん

2. 開催内容

(1) 教育長挨拶・導入(1日目)

教育長からの主催者挨拶の後、導入として、モデレーターの福島大学 人間発達文化学類 坂本 篤史 准教授から全体の流れ、ワークショップでの話し合いの方法とポイント、そしてグループ発表の方法について説明をいただきました。

グループ内自己紹介の後、大学生メンターさんの企画で、アイスブレイクを実施しました。ジェスチャーゲームで、大いに盛り上がりながら、今日初めて会うグループのメンバーとの仲を深めていました。

(2) 講演

外部講師として、イキヌクヒト合同会社代表社員の紺野陽奈氏による講演会を実施しました。「今、学生だからこそできる 10 のこと」というテーマで、若い時代の限られた時間をどのように使っていくのか、また、失敗を恐れず挑戦していく姿勢などについて、紺野氏の実体験を踏まえながらご講演いただきました。



(3)ワークショップ(1日目～2日目)

参加生徒から事前に提出いただいた課題シートの内容により、大きく5つのグループに分け、各グループで問題意識を共有しながらテーマを決定し、各テーマについて「①郡山市や学校のいいところ」「②郡山市や学校の良くしたいところ」そして「③郡山市に提言したいこと」を話し合いました。

【各グループのテーマ】

- A グループ「学習意欲の向上」
- B グループ「教職員と生徒に寄り添う学校施設」
- C グループ「地域の人とつながれる行事とは」
- D グループ「校則の明確化のために」
- E グループ「みんなが求める環境にやさしい学校づくり」



A グループ



B グループ



C グループ



D グループ



E グループ

事前課題シートをベースに各中学校の状況やそれぞれの問題意識、意見や希望等をグループ内で議論・共有し、グループ発表に向け、グループとしての意見をまとめていきました。各グループで様々な疑問や課題が出ましたが、大学生メンターさんのサポート、モデレーターの坂本先生のアドバイスにより、一つ一つクリアしながらグループ発表に向け、準備を進めました。

(4) グループ発表(2日目)

特別会議室に会場を移し、午前中は前回に引き続き、ワークショップを実施、午後はグループ発表を行いました。市教育委員会の教育長をはじめ、報道関係者、参加者の保護者、所属中学校関係者など多くの方に聴講いただきました。

各グループの発表の後には質疑応答の時間も設け、市教育委員会、学校関係者からも活発な質問や感想が出され、発表生徒は自身の中学校の例を交えながら、しっかり受け答えをしていました。

グループ発表後、モデレーターの坂本先生から全体の講評、そして教育長からも感想と素晴らしい発表と提言に対し、御礼の言葉がありました。



閉会后、全体の写真撮影を行い、2日間に及んだユースカウンスルは閉会となりました。参加生徒は今回初めて会ったにもかかわらず、最後にはすっかり打ち解け、閉会后もしばらく会場で談笑していました。

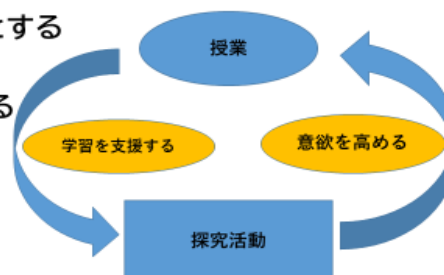
3. 提言

(1) A グループ「学習意欲の向上」

わたしたちが考える未来の学校

みんなが主体的に勉強する・できる学校

- ・生徒全員意欲をもって学習しようとする
- ・その意欲的な学習を支援する
- ・生徒全員が将来を見据えて学習する



わたしたちからの提言

意欲を高める

探究活動を取り入れる

習ったことの実用と深掘り



例えば…

- ・習ったことを深く調べて発表する
- ・教科書にないことの探究
- ・ICTを活用したネイティブとの交流

もっと知りたい!!
主体性を育む!!

わたしたちからの提言

学習環境を整備する

学習環境の整備

ICTの利用、活用をよりしやすくする(方法などの講習)

自習室の設置推進

外部講師の導入→先生の負担を減らすため

レベル別学習(自分が入りたいレベルのクラスを選択する)

個別学習の推進(先生への質問箱を作る)

クラスに来にくい人支援(映像、遠隔授業や個別対応の質問)

(2) B グループ「教職員と生徒に寄り添う学校施設」

わたしたちが考える未来の学校

- ①生徒と先生の身体の健康に寄り添った、
過ごしやすい学校
- ②不便が少なく、時間的に効率のよい生
活を送れる学校

わたしたちからの提言

- 〈①を実現するために〉
 - ・体育館に冷房を付けてほしい
 - ・外部活の熱中症対策（テント設置による日陰の確保、外
用のファン設置）を強化してほしい
 - ・スロープを設置してほしい
- 〈②を実現するために〉
 - ・トイレを洋式にしてほしい
 - ・空き教室を活用してほしい

(3) C グループ「地域の人とつながれる行事とは」

わたしたちが考える未来の学校

- ・ 地域と学校の交流が活発な学校
- ・ 学校を中心にSDGsにつながるような活動を地域で行える学校
- ・ 地域の人が気軽に利用できる学校
- ・ リモートやオンラインを利用して、学校活動を広報、配信できる学校



地域の人々との交流の機会を増やすことができる

わたしたちからの提言

- ・ 学校行事告知や地域行事告知の張り紙を貼ることのできる
掲示板を設けてほしい



地域の人々に行事に参加してもらうため

わたしたちからの提言

- ・ 地域の方々とつながる手段としてオンラインなどを活用するための機械を貸出できるようにしてほしい。



遠くからでもコミュニケーションがとれるようにするため

- ・ エコキャップ回収を地域の方々と協力したいので、ゴミ箱などを設けてほしい。



地域とのコミュニケーション & 地域の環境保全のため

- ・ これからの学校づくりに生徒や地域の意見を取り入れたいので、地域の人も利用できる意見箱を設置してほしい。



地域の人とも関われる学校を作っていくため

(4) D グループ「～校則の明確化のために～」

わたしたちが考える未来の学校

- ・校則がわかりやすい
 - ・生徒に自主性が生まれる校則
- 先生、生徒が校則を理由まで理解できるような学校

わたしたちからの提言

市内で最低限の校則を理由を含めて統一してほしい！

→各学校で必要だと考えられる校則の案を生徒に募集し、生徒会や先生方でまとめ、市に提出する。

わたしたちからの提言

普段の生活や生徒会総会において、校則が手軽に確認できるようにしてほしい。

→各学校がホームページに校則を掲載するように働きかけてほしい！

わたしたちが考える未来の学校

①節電・節水ができる学校

<理由>

無駄なエネルギーを消費しないようにするため
SDGs7～エネルギーをみんなにそしてクリーンに～

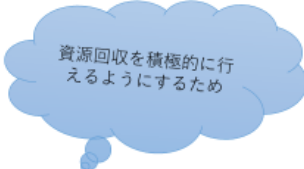
②資源を大切に使う学校

<理由>

資源には限りがあるから
SDGs12～つくる責任つかう責任～

わたしたちからの提言①

- ・資源を回収するための大きな施設をつくってほしい。



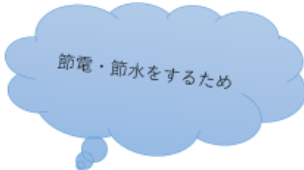
資源回収を積極的に行
えるようにするため



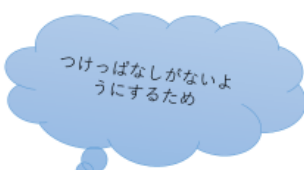
リサイクルするため

わたしたちからの提言②

- ・人感センサーに切り替え、ソー
ラーパネルを設置してほしい。



節電・節水をするため



つけっぱなしがないよ
うにするため